

# 多度志の子

発行日 令和2年6月29日  
発行者 深川市立多度志小学校  
深川市多度志1160番地  
TEL 0164-27-2005

やさしく たたく たくましい 多度志の子 を 育むことを目指して

子どもたち一人一人の頑張りに励ましや称賛を!!

## たくましい心

校長 壽崎 正人

学校が再開して一カ月余りたちましたが、子どもたちにソーシャルディスタンスやマスクの着用、まめな手洗いなど、新しい生活様式に少しずつ慣れてきているようです。どの教室の子どもたちも、落ち着いて学習しています。これまでも、お子さまの学習・健康など、様々な心配事がお有りかと存じますが、お子さまやご家族、周りの皆様の命を守る取組であることをご理解いただき、ご協力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

最近、親や教育関係者が集う席上で、こんな話を聞きました。「最近の子どもたちは、学習に対する意欲が足りなかったり、望ましい友達関係を上手に築いたりすることのできない子が増えているのではないか。」というのです。話を分かりやすくするために、もう少し具体的な例を挙げますと、

- 「何事に対しても長続きせず、途中であきらめてしまう子」
  - 「自ら新しいことにチャレンジすることをためらったり、いやがったりする子」
  - 「失敗したり、負けることをいやがり、最初から人との付き合いを避けようとする子」
  - 「友達からの些細な一言に、大きく動揺し、すぐに傷ついてしまう子」
  - 「相手から声を掛けられるまでひたすら待ち続け、決して自分から相手に声を掛けようとしない子」
- などが代表的な事例だと考えています。

このような子どもに対して私たち大人や教師は、どのようにかかわったり、またどのような支援をしていけばよいのでしょうか。ある臨床心理学の研究者などの調査によりますと、学習意欲が低く、友人関係を築けない子どもは、受容感(相手は自分を理解してくれていると思うこと)、効力感(自分は信頼されている、役に立っていると思うこと)、セルフコントロール(自らの感情や気持ちをセーブしたり、調整したりすること)、対人積極性、向社会性(人のために役に立ちたいという良心)が低く、不安感、攻撃性が高いという調査結果が示されていました。そこで今回は、「自分に自信を持ってない子どもや、すぐに傷つき落ち込んでしまう子どもたち」に絞ってお話してみます。

教育心理学の世界では、こうした子どもたちの心理には「どうせ自分は何をやってもだめなんだ」という「失敗体験」の繰り返しとその背景に潜んでいて、こうした体験が長く続くと、しまいにはさほど困難ではない小さな課題に対してさえ、「避けたい」「逃れよう」という心理が強くなってしまっていると言われています。したがって、こうした自分に自信が持てない子どもたちに対しては、「自分の頑張りや行動が努力した分だけ結果に結び付く」、「周りの子どもたちから、自分は認められている」という「成功体験」を積み上げていくことが極めて大切なことだと考えています。

この「成功体験」というのは「掃除を手伝ったら、友達からありがとうという言葉が返ってきて、嬉しかった。」、「弟と仲良く絵を描いていたら、お母さんが褒めてくれた。」、「ゴミ拾いをしていたら、それを見ていた近所の方から感謝された。」という、ごくごく普通に子どもたちが味わっているような体験のことです。むしろ「成功体験」を味わわせるというより、その子どもの頑張りに声を掛けてあげたり、周りのみんなでその子どもを称賛してあげる機会を大切にするということだと思います。

学校や家庭における励ましや称賛する体験を通して、子どもたちは自らの言動に自信をもつようになり、更には、多少の困難な事くらいなら乗り越えられるようになり、逆境に屈しない強い心を育てることも可能になります。

こうしたことから学校では、特に人から褒められ、認められる場を工夫するとともに、子どもたちが自分の力を実感し、真の意味で自分に自信をもつことができるような指導や支援を常に心掛けていきたいと考えています。どうぞ、ご理解とご協力を宜しくお願いいたします。

## 多度志小学校における「新しい生活様式」と 「学びの保障」に向けた取組について

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対しまして、長期間に渡りご協力いただいておりますことに厚くお礼申し上げます。6月より通常登校となり、ようやく以前の生活リズムに戻りつつありますが、新型コロナウイルス感染症については、いまだ不明な点が多く、有効性が確認されたワクチンも存在しないため、今後もこの新たな感染症とともに生活していかなければなりません。そのため、感染リスクはゼロにすることはできないという事実を前提として、学校においても「3つの密」を徹底的に避ける「新しい生活様式」を導入し、感染のリスクを可能な限り低減しつつ、教育活動を行ってまいります。

6月18日に、深川市教育委員会作成の「深川市における「学びの保障」に向けた取組について」の文書を配布したところですが、それを受けまして多度志小学校における「学びの保障」に向けた取組を以下のように進めます。

### ＜授業時数の確保＞

○長期休業を短縮し、授業日を増やします。

夏休み・・・ 8月 8日（土）～ 8月17日（月）

冬休み・・・ 12月26日（土）～ 1月11日（月）

※これにより、5時間授業→6時間授業の上乗せをしなくてもよいことになり、7月以降通常の週28時間に戻します。

### ＜年間指導計画の調整＞

○臨時休業により、年間指導計画にずれが生じているので、授業時数と学習進度を調整し、履修漏れ等のないようにします。

### ＜学校行事＞

○感染症対策を十分に講じた上で実施するよう検討をすすめています。

修学旅行・・・ 8月27日（木）～28日（金）

見学旅行・・・ 8月28日（金）

運動会・・・ 9月12日（土）

学芸会・・・ 10月17日（土）

※その他の行事は、新たに配布されます  
年間行事予定表をご覧ください。

### ＜フェイスシールド＞

夏場のマスク着用による熱中症リスクの軽減と、学習効果を高めることを目的として全校児童と教職員にフェイスシールドを購入しました。

## 北新小との合同学習

北新小学校との合同修学旅行の事前学習の第1回目が6月26日に行われました。修学旅行まで、計4回の合同学習を予定しています。



## 7月の行事予定

- 1日（水）放課後教室③ 心臓検診（1年）
- 2日（木）体力テスト②
- 6日（月）委員会
- 7日（火）朝会集会 内科検診
- 8日（水）B日課 職員会議
- 9日（木）交通安全指導 クラブ①
- 10日（金）尿検2次 合同学習（北新小）
- 13日（月）参観日 懇談会
- 15日（水）放課後教室④
- 23日（木）海の日
- 24日（金）スポーツの日
- 30日（月）クラブ



## 多度志小学校体育館床ウレタン塗替

7月1日（水）～14日（火）の間、多度志小学校体育館の床ウレタン塗替工事が行われます。期間中、体育館の使用はできませんが、体育の授業は、グラウンドやホールを使って行います。なお、この工事において化学物質などは使用しないということで、児童の健康への影響も心配ありません。